

今大会から「演劇・コント・ポエム等部門」と
「ダンス・歌唱部門」の2部門制に!!

高校生なら
誰でも参加
できます!!

第11回

全国高校生

手話

パフォーマンス

甲子園

令和6年

9月22日日

会場:米子コンベンションセンター

(鳥取県米子市末広町294)

参加チームを
募集します!!

申込期間 4/22月▶6/28金 本大会出場チームに
交通費・宿泊費の助成あり

予選審査動回 7/16火 予選審査会 7/25木 結果発表 7/26金
提出期限

主催 手話パフォーマンス甲子園実行委員会
[事務局] 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内

共催 鳥取県・公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会

特別協賛 日本財団

特別協力 一般財団法人 全日本ろうあ連盟

詳しくは 手話パフォーマンス甲子園 検索



YouTube

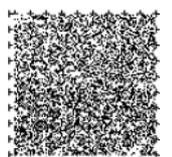
Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

大会公式ホームページ

募集の
詳細は
こちら▶



▶目の不自由な方のための
音声コード



第11回 全国高校生手話パフォーマンス甲子園 開催要項

●目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を「手話の聖地」鳥取県で開催する。

●大会概要

- (1)大会名 第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園
(以下「本大会」という。)
- (2)日時 令和6年9月22日(日)
午前9時30分から午後4時10分まで(時間は予定)
- (3)会場 米子コンベンションセンター(鳥取県米子市末広町294)
- (4)出場 予選審査を通過した16チーム
(演劇・コント・ボエム等部門、ダンス・歌唱部門 各8チーム)
- (5)内容 以下のとおり
①開会式(関係者挨拶、優勝旗返還、選手宣誓、チーム紹介)
②出場チーム演技(前半:演劇・コント・ボエム等部門 後半:ダンス・歌唱部門)
③ゲストコーナー
④審査結果発表・表彰式
⑤講評・閉会

●主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

●共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

●特別協賛

日本財団

●特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

●参加資格

- (1)令和6年度に高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校高等部、高等専門学校(3年生まで)、専修学校及び各種学校(修業年限が高等学校と一致している生徒に限る。)に在籍していること。
- (2)本大会に参加することについて、校長の承認が得られていること。また、参加する生徒について、校長の推薦が得られていること。
- (3)本大会への参加に当たって、原則として在籍する学校の教職員が引率できること。
- (4)原則として、本大会の全日程、本大会前日のリハーサル及び交流会に参加できること。

●チーム編成

1チームの編成は、両部門とも同一校又は複数校で編成するチームの生徒及び引率者とし、生徒は演技者の他、演技の補助者や必要に応じてチームの介添え者を含めることとする。人数は最大で生徒20人以内、引率者10人以内とし、予選参加者は原則として本大会に出場できる生徒とする。ただし、予選審査後に生じたやむを得ない事情等がある場合は、本大会に出場する生徒を変更(若干名の増減)できるものとする。(同一校から各部門1チームずつ、合計2チームの参加が可能。)

同一校からの複数チームの参加申込みは可能とするが、本大会に出場できるのは予選審査で同一校中、各部門最上位のチームのみとする。なお、同一人が複数チームで参加することは認めない。

●演技内容等

- (1)手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、ボエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンスを「演劇・コント・ボエム等部門」「ダンス・歌唱部門」の2部門に分けて審査する。パフォーマンスは表情も含め手話言語を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるものとする。

※なお、手話パフォーマンス甲子園(予選及び本大会含む)に出場したことがあるチームについては、自校の過去の演技テーマ、構成等と同じでも問題はないが、同じ内容にする場合には、参考情報として理由等を様式第5号「第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査演技情報」に記載し提出すること。また、審査基準としては、必ずしも音(音声や音楽など)を用いる必要はないことを申し添える。

- (2)本大会での演技時間は、両部門ごとに以下のとおりとする。
演劇・コント・ボエム等部門 3分以上8分以内
ダンス・歌唱部門 3分以上6分以内
なお、予選審査会においては、3分以内の動画を提出するものとする。
- (3)演技スペースは、概ね間口10メートル、奥行5メートルの範囲とする。なお、演技中に演技スペースから舞台袖への出入りは可能とする。
- (4)情報保障の観点から、演技中、歌詞やセリフ等には字幕を必ず表示させること。字幕は、予選審査動画においては映像の中に、本大会においては演技スペース後方に設置するスクリーンに表示させること。なお、本大会の演技中は、主催者側で歌詞やセリフ等の要約筆記等は行わない。
- (5)舞台上での演技(音声によるナレーション等の演技補助を含む)は全て生徒が行うこととし、字幕表示、音響・照明のキュー出し等、演技以外の舞台進行に係る作業は生徒が主体的に行うよう努めること。
- (6)演技の補助として、簡素な小道具、舞台装置、背景、スクリーン等のみ使用を認める。(概ね1分以内に準備が完了できるものに限る。)。なお、演技中に、小道具、会場にない設備(特殊な照明や音響等)等を使用する場合は、原則として各チームにおいて用意すること。なお、これらの使用については、本大会前に舞台監督と詳細の打ち合わせをすること。
- (7)スクリーンに表示する内容については字幕のみとする。
- (8)予選審査における動画の撮影ルール等の取り扱いは、別途提示する。なお、予選審査に複数の演技内容の動画を提出することは認めない。

●審査方法

- (1)主催者が委嘱した審査員が部門毎に審査及び採点を行う。
- (2)審査員は、各部門5名から構成し、審査委員長は主催者が選出し、両部門の審査を行うこととする。
- (3)予選審査は、参加申込みチームが提出した演技動画を視聴する方法により、審査員が行う。
- (4)予選審査会及び本大会の審査基準、採点方法、演技時間の計測方法等は、別途定める。

●参加申込期間

- (1)申込期間 令和6年4月22日(月)から6月28日(金)まで
(※郵送により提出される場合は、提出期限の消印まで有効)
※予選審査動画の提出期限は、令和6年7月16日(火)まで【必着】

●参加申込方法・提出資料

「とっとり電子申請サービス」の申込フォームに各提出資料を添付して参加申込みすること。

- ①参加申込書 ②校長承認及び推薦書
- ③予選参加者名簿 ④チーム紹介文
- ⑤予選審査演技情報 ⑥チーム画像
- ⑦予選審査動画 ⑧高校名の手話動画

提出期限

- ①②:6月28日(金)
- ③~⑧:7月16日(火)

●参加料

不要

●助成金

出場チーム(生徒、引率者)に、以下のとおり交通費、宿泊費の実費相当額を設定上限額内で助成する。なお、助成申請方法等については、別途事務局が示す手続きによること。(領収書等必要)

※各地域の1チームあたりの上限額は以下のとおり
北海道、東北地方、関東地方、中部地方、九州地方、沖縄県 385,000円
近畿地方、中国地方(鳥取県を除く)、四国地方 335,000円
鳥取県内 285,000円

●表彰

表彰は以下のとおりとする。

- (1)部門毎での表彰
ア 優勝(賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。)
イ 準優勝(賞状、準優勝盾、メダル、副賞を授与する。)
ウ 3位(賞状、盾、メダル、副賞を授与する。)
エ 審査員特別賞(賞状、盾、副賞を授与する。)
- (2)大会開催に関わる以下の団体が別途選出したチームへの表彰(部門問わず) 全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞(賞状、盾、副賞を授与する。)
- (3)その他、上記受賞チーム以外の全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

●予選審査会・審査結果発表

- (1)日程 令和6年7月25日(木)及び26日(金)
- (2)場所 鳥取県庁内
- (3)内容 参加申込みチームが提出した予選審査動画の視聴により審査を実施し、本大会に出場する16チームを選出する。
- (4)結果 令和6年7月26日(金)に審査結果発表会を公開して行う(インターネットでライブ中継あり)。
なお、発表会終了後、公式ホームページ上に審査結果を掲載する。
- (5)その他 上記(4)の審査結果発表会の際に、本大会の各チームの演技の順番及び選手宣誓を担当するチームを抽選で決定する。(本大会出場チーム確定後に、抽選を行う。)
なお、選手宣誓については、手話言語を用いて行うこと。

●交流会

- (1)日時 令和6年9月21日(土)(本大会前日)
午後6時から午後8時30分まで(時間は予定)
- (2)場所 鳥取県米子市内
- (3)内容 出場チームや大会関係者等が一堂に会し、交流を深めるもの。
- (4)その他 参加者の交流を深める目的であることから、原則として参加すること。(参加費は不要。)

●スケジュール

- 令和6年(2024年)
4月22日(月) 参加申込み受付開始
6月28日(金) 参加申込み締切
7月16日(火) 予選審査動画の提出締切
7月25日(木) 予選審査会
7月26日(金) 審査結果発表
(結果発表、本大会演技順及び選手宣誓チームの抽選決定)
9月21日(土) リハーサル、交流会
9月22日(日) 本大会

●問合せ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地
手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内)
電話:0857-26-7682 FAX:0857-26-8136
Eメール:s-koushien@pref.tottori.lg.jp

●動画チャンネル(Youtube)

過去大会のパフォーマンス動画を公開中!
<https://www.youtube.com/user/skoushien>





とっとり手話フェス2024

開催 2024 9.21.sat ~ 23.mon



HANDSIGN
総合プロデュース

手話×音楽
手話×ダンス 手話×お笑い

May J.



とっとり手話フェス LIVE 2024

2024.9.23.mon

[開場]13:00 [開演]14:00

会場 米子コンベンションセンター
多目的ホール (鳥取県米子市末広町294)

※内容・時間は変更となる場合があります。

入場無料



ハジ→



江副悟史(男組)×菊地浩輔(よしもと手話フ!)
×HANDSIGN



ウエSP



DOZAN11
aka 三木道三

俳優 庄崎隆志×絵描き 門秀彦
×コントラバス 田辺和弘

私も参戦!
オンガクお嬢

日本海テレビアナウンサー
中尾真亜理

ダンサー、難聴ダンサー、多数出演!
瑚、SORa→N、yossy

事前申込
優先

とっとり手話フェス2024

期間中、イベントもたくさん

エアカフェ、ミニ手話教室、
絵描き・門秀彦さんのアートワークショップ、
あいサポートマルシェ ほか



9月21日(土)~23日(月・祝)



会場にて気軽に手話言語に
触れられる各種イベント
を開催します!

9月22日(日)



全国高校生
手話パフォーマンス甲子園

9月23日(月・祝)



とっとり
手話フェスLIVE'2024



事前申込はこちらから

お問合せ

主催/手話パフォーマンス甲子園実行委員会 ●共催/鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会
手話パフォーマンス甲子園実行委員会(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内) 〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地
電話0857-26-7682 Eメールs-koushien@pref.tottori.lg.jp

きこえない・きこえにくいアスリートのための
国際スポーツ大会デフリンピックが
日本で初めて、東京で開催

2025年
11月開催



TOKYO 2025

25TH SUMMER DEAFLYMPICS

デフリンピックを応援しよう！

全ての人々が輝くインクルーシブな街「東京」の実現に向け、
多くの方々と大会を盛り上げていく取組の一つとして、
寄附・クラウドファンディングを受け付けています。

寄附・

クラウドファンディング

受付中！



この二次元コードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。
この機能はCookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。

詳細はコチラ

きこえない・きこえにくいアスリートのための国際スポーツ大会 東京2025デフリンピック

- 日本初開催 世界70～80の国・地域からデフアスリートが集結
- 100周年 東京開催が100周年の節目となる、歴史に残る記念大会
- 21の競技 2025年11月15日から26日まで12日間で競技が繰り広げられます
- 6,000人 各国から約6,000人の選手団が参加します
- 17の会場 東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、日本サイクルスポーツセンター(静岡県)、Jヴィレッジ(福島県)など

デフスポーツの魅力や価値を伝え、人々や社会とつなぎます。
世界に、そして未来につながる大会へ。

“誰もが個性を活かし力を発揮できる” 共生社会の実現をめざします！



早瀬 憲太郎【自転車】

無音の世界でのナンバーワンを決めるデフリンピック。100周年となる東京大会は、次の100年に向けた挑戦でもあります。乗り物と身体が一体となって、さまざまな気象状況の中で戦略を考えながら瞬時に判断していく、自転車競技にも是非ご注目ください。応援よろしくお願いたします。



長谷山 優美【バレーボール】

私たちはボールの位置やメンバーの動きを音で判断できないので、全部目で見ています。広角レンズのように視野を広く持って、お互いを見ながらプレイしているのは、デフ競技ならではの特徴だと思います。東京2025デフリンピックでは金メダルを獲得し、皆さんの応援に恩返しをしたいと思います！

沼倉 千紘【バドミントン】

デフバドミントンでは、パートナーの打球音や足音がきこえません。コミュニケーションを取りながら、前衛と後衛が入れ替わるローテーションや、高速で飛び交わる低空中戦ラリーなど、スピード感のある戦いを楽しんでください。日頃より応援してくださっている方々に最高の景色を届けます！



江島 由高【サッカー】

デフサッカーの見どころは、スピーディーな試合展開の中での首振り、アイコンタクト、手話言語を使ったスムーズな連携プレーなど、さまざまな工夫をしているところ。きこえない分、フィジカルコンタクトが多く、激しいのも特徴です。自国開催となる今大会で世界一になり、応援してくださる皆さんと喜びを分かち合いたいです！



沼倉 昌明【バドミントン】

デフリンピックは、コミュニケーションの祭典だと思っています。手話言語を使う人も、口の動きを読み取る人もいれば、国際手話を使った海外の方とのやりとりもあります。東京2025デフリンピックが、さまざまなコミュニケーションの方法を知っていただく機会になればと思います。皆さんの期待に応えられるよう、頑張ります！



植松 隼人【サッカー/指導者】

東京2025デフリンピックは、きこえない・きこえづらい人ときこえる人とが共に混ざり合う場を考える、大きなきっかけになると思っています。多くの自治体や企業、地域の皆さんと、お互い支え合っていけるような関係をつくっていききたいです。世界一になれるよう、選手のサポートをしていきたいと思っています。



公益財団法人東京都スポーツ文化事業団とは

- ・東京都の政策連携団体として、都立スポーツ施設の管理やスポーツ国際交流事業などの事業も実施しています。
- ・2025年のデフリンピックに向けては、東京都との協定に基づき、準備・運営業務を担っています。
- ・ご支援いただいた寄附金については、事業団が担うデフリンピックの準備・運営業務に充てさせていただきます。

お問い合わせ

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

デフリンピック準備運営本部 総務部 予算グループ

住所：〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル14階

メール：contribution@deaf2025.jp

デフリンピックに便乗した募金活動にご注意ください

当事業団又は当事業団が認める第三者のみ募金活動を行うことができます。募金いただく際にはご注意ください。